

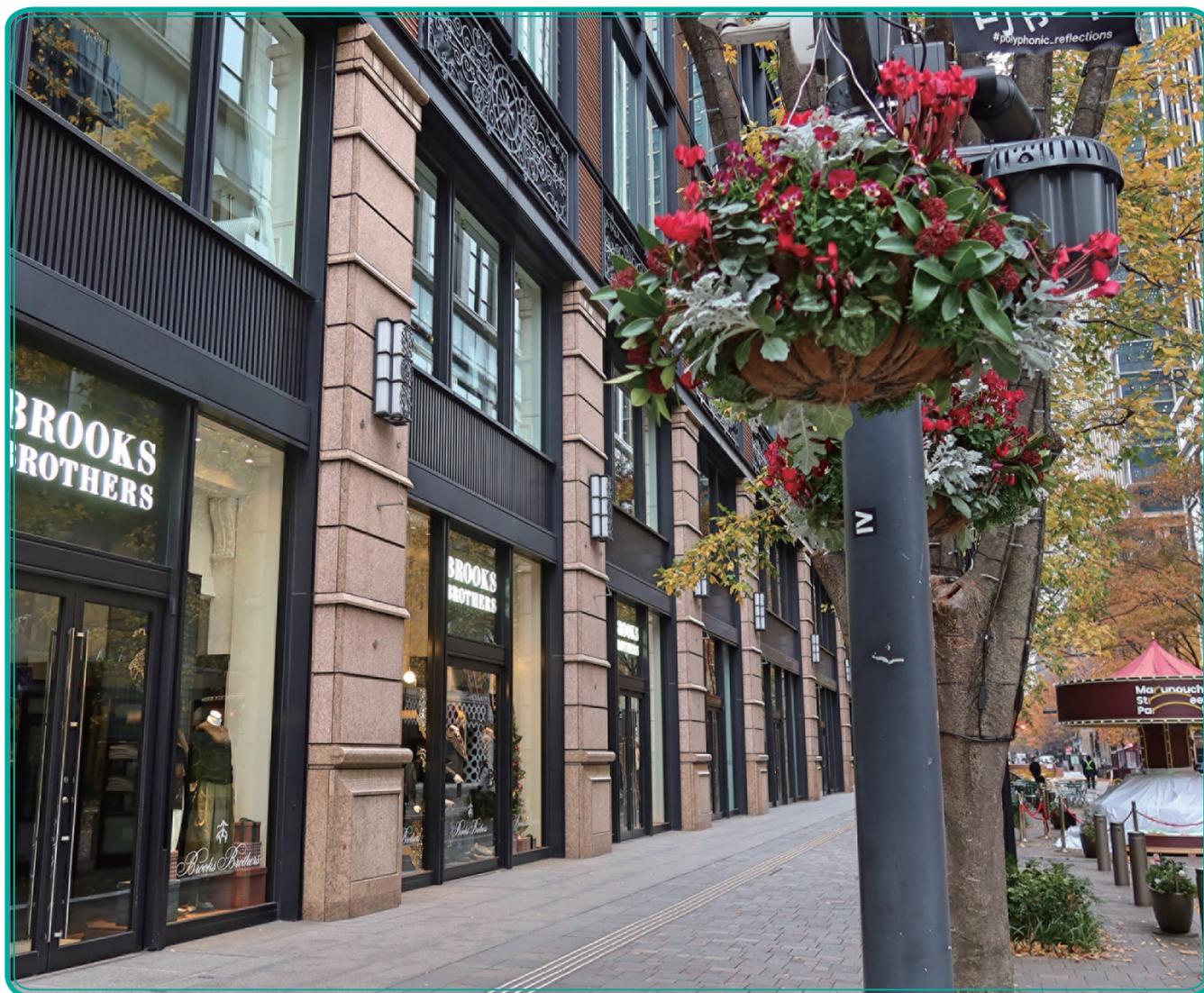
# 一般社団法人 千葉県理学療法士会 NEWS



2024年12月  
第237号

## もくじ

|               |    |
|---------------|----|
| 巻頭言           | 2  |
| 合同大会特集        | 3  |
| 各部局県士会活動案内・報告 | 8  |
| 編集後記          | 15 |



URL : <http://www.chiba-pt.org/>

県士会ニュース代表メールアドレス : [t.kouketsu@asunarogroup.jp](mailto:t.kouketsu@asunarogroup.jp)

### ◆ ニュース原稿メ切 ◆

No.238 2月号 (1月下旬～2月上旬着) ✕切 12月31日  
No.239 4月号 (3月下旬～4月上旬着) ✕切 2月28日  
No.240 6月号 (3月下旬～4月上旬着) ✕切 4月30日

No.241 8月号 (7月下旬～8月上旬着) ✕切 6月30日  
No.242 10月号 (9月下旬～10月上旬着) ✕切 8月31日  
No.243 12月号 (11月下旬～12月上旬着) ✕切 10月31日

## ❖ 巻頭言 ❖

### 📺 学会を終えて



一般社団法人 千葉県理学療法士会  
副会長 高橋 聡

10月5日（土）6日（日）に幕張メッセで第43回関東甲信越ブロック理学療法士学会・第30回千葉県理学療法学会・第30回千葉県理学療法学会合同大会が開催されました。関東甲信越ブロック理学療法士学会（以下：関ブロ学会）は1都9県で10年ごとに担当が回ってきます。千葉県は前回の平成26年10月に幕張メッセで開催された第33回関ブロ学会以来の10年ぶりの担当でした。また、今回は第30回千葉県理学療法学会合同大会と合同開催とし、合同大会長、関ブロ学会長（以下：合同大会長）には田中康之千葉県士会長、第30回千葉県理学療法学会合同大会長（以下：学会大会長）には小林好信理事が就任されました。準備委員会は準備委員長に薄直宏副会長、事務局に大住崇之理事、運営局に小川明宏副会長、学術局に竹内真太理事、渉外局に中村亮太理事、広報局に桑江豊理事が就任され、運営委員としては各ブロックの施設よりご協力いただき、千葉県理学療法士会の役員会員のALL CHIBAで学会運営に臨みました。

今回の関ブロ学会の大きな特徴としては、コロナ前の2019年10月に群馬県士会担当の38回大会以来の対面の学会であったことでした。ここには田中・小林両大会長や準備委員会の皆さんが今回のテーマである「話そう！ つながろう！ 理学療法」でも表しているよう、対面開催でのつながりへの強い思いがありました。コロナ禍で顔を合わせての学会から遠ざかり、対面の時に経験した、素晴らしい出会いや再会、そこでの会話、ポスター会場での熱いディスカッションなど、オンラインやオンデマンドでは得られない環境が、皆さんにより良い刺激となり、高みに導いてくれるだろうという強い思いと期待が込められていると感じました。

全国学会が分科学会化した中で、ブロック学会は様々な分野を学べる最大クラスの学会となります。本学会のプログラムも様々な分野で構成されており、非常に勉強になる講演や発表が多く、どの会場も活気に溢れ大盛況だったと感じました。「これが対面の空気感だな、これが大事だよな」と改めて感じたのを強く記憶しております。

その中でも私が強く印象に残っているのが、メイン会場で開催された10都県士会長のシンポジウム「各士会長が本音で語る！ 士会の未来！」でした。聴講されていた方々が、ベテランや中堅の方々だけでなく、若い会員の皆さんが多く参加されていたことでした。やはり若い皆さんも知識や技術だけではなく、職能人としての自分たちの未来や、所属している職能団体の未来に対しても関心を持っているのだと感じました。県士会役員としては、真剣に聴講している皆さんの姿を見て、千葉県理学療法士会会員の未来のために、執行部としてしっかりやっつけていかねばと改めて身が引き締まりました。

参加者に至っては、魅力あるプログラムだったこともあってか、2日間で1,656名と多くの方に参加いただき、大変好評だったとのことでした。また、前述のシンポジウムでもそうでしたが、ベテランや中堅の方々のみならず、若手セラピストや学生が多く参加していたとの報告がありました。5年目以下のセラピストの多くはコロナ禍での学校生活で授業もオンライン、実習も学内実習やオンデマンド学習が多く、対面での学習経験が少なかったと思います。そのような若いセラピストが今大会に参加したことで、多くの出会いや繋がりができ、またその対話の中で多くの刺激と学びを得られたことにより、対面で研鑽を積むことの良さを感じてくれたら、それは今回の学会のとても大きな功績だったのでは？と感じました。

皆さんは、久しぶりの対面での関ブロ学会、いかがでしたでしょうか？

## ❖ 合同大会特集 ❖

### 📺 感謝感激！ 合同大会！

第43回関東甲信越ブロック理学療法士学会  
第30回千葉県理学療法学会 合同大会  
合同大会長 田中康之

10月5日、6日に幕張メッセで開催された本合同大会。手元計算で1,656人もの皆様にご参加いただきました。心より感謝申し上げます。

この日まで身を削り準備に尽力していただいた準備委員会の皆様、そして当日運営に携わっていただいた多くの県士会員の皆様のおかげです。ありがとうございました。

今回は「話そう！つながろう！理学療法」というテーマを掲げ、対面開催に拘らせていただきました。当日、仕事や家庭の事情で参加が叶わなかった皆様には申し訳ございません（双方向性のライブ配信は、予算がウン百万円増加することもあり、今回は見送らせていただきました）。会って、話すことで「知の化学反応」が会場の至る所で花開くことを期待し、準備委員会の皆様がいろいろな仕掛けを講じてくれました。その結果、会場内の至る所で参加者のクラスターが発生し、その盛り上がりは他職種の参加者からは多くの驚きの声をいただきました。ご参加いただいた皆様はいかがでしたでしょうか？「知の化学反応」を起こすinputとoutputを楽しんでいただけましたでしょうか？

また、当日は多くの企業にもご協力をいただき、特に移動・移乗の福祉用具に関する体験を実施することができました。こちらのコーナーにも延べ600人を超える方々のご参加をいただきました。この人数は私の想像を遥かに超えるもので、移動・移乗に関わる福祉用具に興味がある理学療法士が想像以上に多いことは驚きでもありました。

関東甲信越ブロックに所属する会員は日本理学療法士協会の約30%を占めています。学会が法人学会化し20の学会と研究会とに分離している現在、関東甲信越ブロック理学療法士学会こそが日本最大の理学療法の総合的な学会なのです。確かに専門分化した学会は大切です、学びも多いでしょう。しかし、私たちは一つの専門性だけを活用して仕事ができるわけではありません。そういう意味では年齢・経験を問わず、今後もこのような理学療法の総合的な学会へ積極的に参加していただき盛り上げていくことこそが、我々の業界の発展につながるものと感じた次第です。

来年は、11月15日（土）16日（日）に山梨県で開催します。千葉県からも是非多くの方のご参加を期待しております。是非!!



## ☒ 「想いがつながる」

第30回千葉県理学療法学会  
大会長 小林好信

去る10月5日と6日、幕張メッセにて第43回関東甲信越ブロック理学療法士学会・第30回千葉県理学療法学会 合同大会が開催されました。当日は、高校生や養成校の学生、保護者の皆様を含む多くの方々にご来場いただき、盛会のうちに終了いたしました。本大会は、セレクション演題以外はポスター発表が中心でしたが、どのブースも聴講者で賑わい、ディスカッションが活発に行われていました。また、スタンプラリーを採用した企業の出展ブースも多くの来場者で賑わい、発表会場以外のスペースにも活気が溢れていました。

今回のテーマは「話そう！ つながろう！ 理学療法」でした。私自身、講師やシンポジストの皆様、都県士会の役員の皆様、若い運営スタッフの皆様、そして共に準備を進めた準備委員の皆様など、多くの方々と繋がることができました。準備委員として、発表者や参加者の皆様から「発表して良かった」「臨床への意欲がさらに高まりました」「今後も積極的に学会に参加していこうと思っています」「学会に参加する意義を改めて感じました」「理学療法士としてレベルアップできるよう精進していきます」といったお声をいただき、本当に嬉しく思います。

学会を終えた今、改めて「つながる」ということについて考えてみました。単に関係性がつながるだけでなく、「想い」が伝わり、つながることが重要なのではないのでしょうか。我々が時間やお金をかけて切磋琢磨する理由はひとつ——それは「患者さんのため」であるということを確認しました。キャリアアップやキャリア形成という言葉がありますが、キャリアは自分のためだけではなく、目の前の患者様や利用者様、地域住民の皆様、そして社会全体のために築くものではないのでしょうか。「想い」を共有できる仲間がいること、そして真剣に理学療法を実践すること——これこそが私たちの土台であり、根幹だと思います。若い人たちにとって、一生懸命に生きることが時に恥ずかしく感じられることもあるかもしれません。報われないこともあるでしょう。しかし、臨床や研究に真剣に向き合えること自体に喜びを見出せば、必ずや明るい未来につながっていくのだと私は信じています。私もまだまだ頑張りますが、皆様のご活躍を心から期待しています。



どこかでお会いすることがありましたら、ぜひお気軽にお声がけください。理学療法について大いに語り合いましょ！ この場をお借りして、本大会にご協力をいただいた全ての皆様に心より感謝を申し上げます。

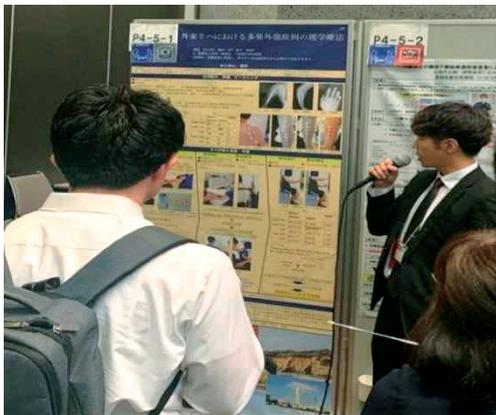
## ◻ 【アナログでデジタルなPTに】

三枝整形外科医院 リハビリテーション科  
津田 幸太郎

第43回関東甲信越ブロック理学療法士学会・第30回千葉県理学療法学会合同大会に演者として参加いたしました。貴重な機会をいただきありがとうございました。今回の学会では“話そう！ つながろう！ 理学療法”をテーマに、多くの学びを得ることができました。

### —— 話そう！ ——

本大会はポスター発表が中心で発表後に“ディスカッションタイム”が設けられていた。コロナ禍を起点としたオンラインツールの著しい発展の裏で、遠隔での対話に対する慣れが生じ、直接対話の優位性が覆い隠されていると感じていた。そんな中、ただ発表を聴講するだけでなく、“より深く話す機会”が設けられていたことは、オンラインでは得られないコミュニケーションを生み、短的な質疑応答に限らず“そこにいる人”にフォーカスを当てた会話や、つながりが生まれていたことが印象的だった。私はやはり対面でのディスカッションが好きだと改めて気づくことができた。



### —— つながろう！ ——

発表用のポスターには“フリースペース”が設けられており、演者の個性を感じとれた。研究内容や病院の紹介、中には自分の写真を載せて自己紹介をしている方や、地元の風景・特産品の写真を載せている方もいた。この工夫により型に嵌った発表ではなく、その人やその人を取り巻く環境にも目を向けることができ、人と人のつながりを強固にするきっかけになっていたと理解した。

### —— 理学療法 ——

対面でのつながりを重んじる中でも、講演中の質疑をQRコードやweb上で募集するなど、まさに“良いところ取り”な大会であった印象だ。大会を終えて、ふと思い立ち調べてみたところ、アナログとは本来“連続的な状態”で、デジタルとは“段階的に区切った状態”を意味するようだ。つまり“電子機器が苦手な人＝アナログ人間”とするのは誤用とのこと。言葉も人も日々変化しその捉え方は様々で、私は患者様の日々の変化を一つながりの線で捉え対応できるPT、人から人・過去から未来へと理学療法の連続的なつながりを重んじる意味でのアナログPT、技術の発展に伴うデジタル的な恩恵も活用できるPTでありたいと強く決心した。



## 第30回千葉県理学療法学会 養成校交流企画に参加して

城西国際大学 4年 福田 明香梨

今回の学生交流企画では研究計画を発表する機会をいただき、ポスターを作成したり、理学療法に携わる多くの方々の前で発表を行うことができたりと、普段の大学生活では感じることのない緊張感や達成感を味わう貴重な経験となりました。また、色々な研究発表を聴くことができ、装具が歩行動作に与える効果や、高齢者の健康増進など幅広い分野に興味を持つきっかけになりました。さらに、1つの研究に対して複数の方々が意見交換を行う場面をみて、理学療法士は理学療法の更なる発展を目指していることを実感しました。



私が実際に理学療法士になったときにも活きる学びを得ることができたと感じており、今後も積極的に学会に参加したいと考えています。

城西国際大学 4年 木下 ほのか

今回、初めて研究を発表させていただきました。研究自体が初めてであったため、発表の準備段階から不安と緊張の連続でした。実際に発表を行なってみて、自分の言葉で内容を的確に伝えることの難しさを実感するとともに、発表を聞いてくださった方々から多角的な意見をいただくことで自分の研究に対する理解が一層深まりました。また、他の発表者の研究を聴く中で研究への多様なアプローチや視点に触れ、研究の幅広さと奥深さに改めて感銘を受けました。



この経験を通じて研究に対する興味が一層深まりました。今後は、理学療法士として臨床現場における実践に加えて、積極的に研究活動にも取り組みたいと考えています。より質の高い理学療法を提供できるよう、自らの成長を続けていきたいです。

城西国際大学 4年 畑中 ゆい

初めての学会発表はとても緊張しましたが、同じくらい学会に参加できたことをうれしく感じています。大学の外で発表を行う経験はとても貴重であり、将来につながる良い勉強ができました。学会での発表を通じて研究内容を第三者が理解できるように記述・発表することが、どれだけ大切であり、かつ難しいことかを痛感しました。学会という場を最大限に活かすためにも、自分の研究についてよく理解すること、自分の意見を他人に的確に伝える練習をすることが必要だと感じました。



今後また学会に参加する際は、活発なディスカッションを通して多くの方々と意見交換をすることで、より意義のあるものになりたいと考えます。そして、学会を自身の成長の場にできるよう頑張っていきたいです。



## 📦貴重な学び ～充実の2日間～

医療法人社団君津あすなろ会

小見川あすなろクリニック

蒲谷 優斗

令和6年10月5・6日と千葉・幕張メッセ国際会議場で開催された第43回関東甲信越ブロック理学療法士学会・第30回千葉県理学療法学会の合同大会に同僚たちと参加させていただきました。

私はクリニックで理学療法士として勤務し3年目を迎えており、外来患者様や通所・訪問リハの利用者様の機能・疼痛改善やADLの維持・向上、患者様や利用者様のHope達成に向け日々努力しています。

文献を読むことや先輩などに質問することで知識を増やす努力はしていますが、時にはその内容が難解で、頭を抱えることもあり、そんな時にこそ学会参加することで新しい気付きに繋がると思っています。

今回で学会への参加は3回目になります。以前参加した学会とは異なり、ポスター発表が多く、演者と参加者の距離が近く、ディスカッションや質問がしやすい環境で、まさに今回のテーマである「話そう！ つながろう！ 理学療法」が実現していると感じました。

特に今回の大会で印象的だったことが2つあり、1つ目は同じ病院で働く同期のビギナーズ発表です。抄録作成や発表準備の様子を見てきていたので、発表前の同期の緊張がこちらにも伝わってきて、思わず私も緊張をしてしまいました。しかし、発表が始まると堂々とした姿で質疑に対しても丁寧に応じており、その姿に感動し私も負けじと、もっと勉強して知識を深めたいと強く思いました。

そして、2つ目は、普段なかなかお話を聞くことのできない先生方のご講演では、良い学びと良い刺激をいただく事ができました。そして、関東甲信越ブロック理学療法士学会という事でシンポジウム「各士会長が語る！ 士会の未来！」では、これから理学療法士としてどうあるべきなのか、興味深く、楽しく勉強させていただきました。今回時間の都合で見ることが出来なかった講演もあるので、アーカイブ配信でしっかり視聴させていただきます。

今大会を通して、各先生方の講演や発表を聞かせていただき、学会には普段の臨床では得ることのできない知識や経験と、人とのつながりを得ることができます。参加していない事がとても“もったいない”と本当に思わせてくれる大会で、私自身次回の千葉県理学療法学会がとても楽しみになりました。



## ❖各部局県士会活動案内・報告❖

### 📌生涯学習局 報告

#### 【生涯学習局について】

生涯学習局 局長 小林 好信

「患者様（利用者）のために」、「地域のために」といった観点から、ワークライフバランスを図りつつ理学療法の質向上にご尽力いただけましたら幸いです。

#### 【卒前卒後教育連携推進委員会より】

生涯学習局 局次長  
卒前卒後教育連携推進委員会 委員長  
竹内 真太

卒前卒後教育連携推進委員会では、県内の養成校ネットワークを通じて、卒前教育と卒後教育との連携を推進しています。第30回千葉県理学療法学会では、養成校交流企画として県内5つの学校養成施設から学生が参加し、卒前教育における学術活動の取り組みについて発表を行いました。養成校関係者以外にも、多くの現役理学療法士が参加し、交流が深まりました。委員会では、今後も養成校との連携を推進し、卒前卒後の教育の充実に貢献していきたいと思っております。

#### 【前期研修部より】

前期研修部 部長 高原 剛

前期研修部では、9月末から10月中旬にかけて、前期研修の実態把握、履修率の向上を目的に「生涯学習システム前期研修に関する実態調査アンケート」を実施させていただきました。多くのご回答、ご意見をいただき、皆様のご協力に感謝申し上げます。この結果を分析し、前期研修修了に向けて会員の皆様のサポート体制、広報の方法など改善策を検討し皆様の履修促進につながるよう尽力して参ります。

#### 【後期研修部について】

後期研修部 部長 池田 一樹

今年度の士会主催症例検討会（後期研修カリキュラム E：領域別事例）は、残り2回（神経系12/11、内

部障害2/21）です。また、会員所属施設主催症例検討会は、開催2週間前に事前申請いただければ開催可能です。開催についてのご不明な点やご質問などございましたら、各ブロックのコアメンバーや後期研修部員に気兼ねなくご相談ください。

#### 【企画研修部について】

企画研修部 部長 室井 大佑

士会主催の更新研修会として「がん」をテーマにした研修会を年明けの1月30日に実施いたします。こちらが今年度最後の研修会となります。精神面や体調面の理由などから理学療法にうまく乗らない症例の対処方法なども解説いただく予定です。詳細は、県士会のホームページをご確認いただき、お申込みください。

### 📌学術局 報告

研究支援委員会 委員長 森下 勝行

研究支援セミナーは、オンラインや対面による座学と実習を通して研究力の向上を図ります。是非とも多くの皆様の参加申込をお待ちしております。詳細は、県士会ホームページをご確認ください。

#### 【開催報告】

第4回 生成AIで論文検索と読解が劇的に変わる！  
効率アップの極意とは？

開催日：2024年10月25日（金）

場 所：オンライン

講 師：桑江 豊先生（城西国際大学）

参加者数：50名

#### 【開催予定】

第5回 ワークショップ！ 研究計画を作ってみよう！

開催日：2025年2月9日（日）

場 所：未定

講 師：高杉 潤先生（東都大学）

平野正広先生（SBC東京医療大学）

研究支援委員



PT講習会推進委員会 委員長 藤井 顕

1月に開催予定となる以下の委員会関連講習会をご紹介します。締切間近ですが、是非ともマイページより申込をお待ちしております。

セミナー番号 133366

心不全への理解とリハビリテーション・疾病管理  
—急性期治療から地域連携まで—

開催日：2025年1月26日（日）

講師：小川明宏先生（城西国際大学）  
神崎慎也先生（東邦大学医療センター佐倉病院）  
保坂香保里先生（東邦大学医療センター佐倉病院 看護部）

登録理学療法士／認定／専門理学療法士

更新：7.5ポイント／点

## 公益事業局 報告

### ◎活動報告

～君津市 健康と福祉のふれあいまつり～

健康増進支援部 川原 聡子  
(介護老人保健施設つくも苑)

令和6年10月19日（土）君津市福祉部高齢者支援課主催の「健康と福祉のふれあいまつり」に、千葉県理学療法士会として参加してまいりました。このイベントには約10年前から協力参加させていただいており、COVID-19の感染拡大後もイベントの規模を縮小したり、会場を分散するなど主催者が工夫をし、継続していただいています。今回は君津市保健福祉センターと君津市生涯学習交流センターの2か所を会場とし、薬剤師会や看護協会、その他福祉グループなど様々な協力参加者が、模擬店やバザー、展示会などのブースを

設けておりました。千葉県理学療法士会のブースでは、「歩行年齢測定会」の場を設け、来場者に2ステップテストと立ち上がりテストを実施し、歩行年齢と脚力年齢を出し、理学療法ハンドブックを用いて一人ひとりにフィードバックを行いました。



今回私達のブースには約170名が訪れてくださいました。参加者は子供から高齢者まで様々であり、何等かの障害をお持ちの方も多かったように感じます。健康に自信のある方もない方も測定にチャレンジしてください、2ステップテストや立ち上がりテストで大きくふらつき、介助を要す方も少なからず見受けられました。

今回のイベントには、健康増進支援部員5名に加え、君津市近隣に職場やお住まいのある方9名が協力していただきました。皆さん臨床で活躍されている方々であり、参加者への声かけや説明、表情や態度、リスク管理、臨機応変な対応、全てにおいて素晴らしかったです。その為、事故やクレームもなく、170名という参加者でも滞りなくスムーズにイベント進行が図れました。ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。イベント終了後には名刺交換をしたり、空き時間に情報交換や意見交換を行ったりと、他施設のPTと交流する機会が出来たことも貴重な経験になったかと思えます。

今後は経験が浅いPTも、不安なくこのようなイベントに参加協力できるようなシステムやマニュアル作りを進め、地域に貢献できるPTが少しでも増えればよいと思います。



りを進め、地域に貢献できるPTが少しでも増えればよいと思います。



## ☑一般社団法人千葉県理学療法士会

### ●令和6年度 第6回理事会 議事録

日 時：令和6年8月9日（金）19時00分～20時40分

場 所：WEB会議

出席者：〈理 事〉田中康之、薄 直宏、竹内弥彦  
高橋 聡、小川明宏、松田 徹  
大住崇之、高杉 潤、中村亮太  
三和真人、小林好信、藤井 顕  
竹内真太、川村雄輔、桑江 豊  
森田悠介、森下勝行、深田 亮

〈委 任 状〉渡辺政基

〈欠 席〉なし

〈監 事〉西山晴彦、松川基宏、児玉美香

〈委 員 長〉内村 元

〈事 務 局〉奥村龍之

〈書 記〉菊池俊明

#### 1 報告

##### 1) 会長報告及び三役局長会議報告

田中会長より、6月23日から本日までの行動概要及び三役局長会議にて議案調整等行われたことについて報告された。

千葉県理学療法士・作業療法士・言語聴覚士連携推進会議については、新たな名称について「千葉県リハビリテーション専門職協会」に変更することが報告された。

2024年度士会組織強化担当者会議について、千葉県理学療法士会に関する新規・休会・復会・退会等の会員動向の現状と課題について共有された。

BCPについて、災害時は震度5強で役員の安否確認をすること等について共有された。

##### 2) 事務局会議報告

事務局より以下について報告された。

###### ①県士会ニュース進捗について

今年度の巻頭言スケジュールについて、10月は田中会長と小林理事、12月は高橋副会長を予定している。

###### ②ホームページ管理その後の状況

毎月の業者レポートでビュー数が増加していること、ブロックからの操作方法の助言依頼に適宜対応していることを報告された。

###### ③部長・部員・局員の任命・委嘱状関連の進捗

全ての任命・委嘱状関連の手続きが完了したことを

報告された。

###### ④総会后対応進捗

議事録署名人の対応について、議長、副議長の署名が完了したことが報告された。

###### ⑤県士会へのTeams導入に向けた検討について

県士会事業における業務効率改善等の目的で導入を検討中である旨が報告された。

#### 3) 第43回関ブロ・第30回学術大会 合同大会準備委員会報告

運営局、学術局、広報局、渉外局、事務局より、進捗状況について以下に報告された。

##### ①運営局

開場からの導線（参加証明書、ホルダー）、来賓、演者、会員外受付、ポスター受付～発表、発表後のディスカッションなど一連の流れを検討しており、運営協力施設は13施設にて進めていることを報告された。

##### ②学術局

採択演題の確定（346演題）と演題採否通知の送付、プログラムの完成、セッション割り付けの完了、座長割り付けを完了していることを報告された。

##### ③広報局

学会テーマ「話そう！つながろう！」の周知については、大会長、各局長、県士会長によるショート動画配信を準備中。その他に視覚的アピール強化、会場内にフォトスポット（3m×3m）を設置予定、デジタル戦略の展開、ポスター発表の活性化等について報告された。

##### ④渉外局

展示関係について、ランチョン：1企業、一般展示：8企業、テーマ展示：6企業（内定・確認中：4企業）、広告：パナー1企業・プログラム集3企業、協賛金：1企業について、報告された。なお、高校生招待については、現時点で3校15名の高校生参加予定であることも併せて報告された。

##### ⑤事務局

対面の申し込みについて、8月9日現在307名であることが報告された。

#### 2 協議事項

##### 1) 令和6年度の期末監査と代議員総会の振り返り

6月7日の期末監査、6月23日の代議員総会にむけた準備と当日の運営について、事務局にて行った今年度の振り返り内容を県士会として共有し、次年度に向

けた意見交換を行った。

## 2) 第60回日本理学療法学会研修大会 研修大会動画等を用いた宣伝への支援について

第60回日本理学療法学会研修大会 研修大会動画等を用いた宣伝への支援についての日本理学療法士協会からの依頼について、関ブロ準備委員会より宣伝動画および幕間スライド（ポスター）を利用することについて共有された。

## 3 審議事項

### 1) 「2025年度理学療法士講習会の選考」について

「2025年度理学療法士講習会の選考」について、以下のとおり進めることについて賛成多数にて承認された。10月初旬に県士会ホームページにて募集し確認整理後、理事メールへ送信し、決定する。

### 2) 臨床実習指導者講習会世話人認定者について

2024年7月に臨床実習指導者講習会世話人認定申請のあった以下の1名について、賛成多数にて承認された。  
石渡正浩（植草学園大学）。

次回、令和6年度第7回理事会

日時：令和6年9月13日（金）

会場：ハイブリッド開催（県士会事務所）

以上

## ●令和6年度 第7回理事会 議事録

日 時：令和6年9月13日（金）19時00分～21時05分

場 所：WEB会議

出席者：〈理 事〉田中康之、薄 直宏、高橋 聡  
小川明宏、松田 徹、大住崇之  
藤井 顕、高杉 潤、中村亮太  
三和真人、小林好信、竹内真太  
川村雄輔、深田 亮、渡辺政基  
〈委 任 状〉竹内弥彦、桑江 豊、森田悠介  
森下勝行  
〈欠 席〉なし  
〈監 事〉西山晴彦、松川基宏、児玉美香  
〈委 員 長〉内村 元  
〈事 務 局〉奥村龍之  
〈書 記〉菊池俊明

## 1 報告

### 1) 会長報告及び三役局長会議報告

田中会長より、8月9日から本日までの行動概要及び三役局長会議にて議案調整等行われたことについて報告された。

### 2) 事務局会議報告

松田事務局長より以下について報告された。

#### ①県士会ニュース10月号発行日変更について

通常10月1日のところ、今回のみ関ブロの事前参加登録期間内に発行のために9月20日に変更したことが報告された。

#### ②ホームページ管理

業者のACSPORTより閲覧数のフィードバックを受けたこと、印旛ブロックから毎月のページビュー数のフィードバックの要望が挙がっていることについて報告された。

#### ③県士会理事向けのTeams導入のステップ

Microsoft Teams導入について検討していることが報告された。

#### ④事務局長会議報告

休会制度について、復会促進について、市町村担当窓口の設置について検討が行われたことが報告された。

#### ⑤外部からのホームページ掲載依頼について

関ブロ圏外や各病院で実施されている認定講座等の掲載依頼があるが、現行通り関ブロ圏内と学会連合からの掲載にとどめる方針であることが報告された。

#### ⑥選挙管理委員会について

選挙管理委員会の負担軽減のための、組織体制を検討する必要があることについて報告された。

## 3) 公益事業局報告

川村公益事業局長より以下について報告された。

- ・令和6年度推進リーダー研修については、県士会指定事業のみ2回に増やす予定。
- ・推進リーダー調査について、アンケート回答数450名程度に対し200名程度の回答があった。
- ・備品リストについては、以前挙げているリストの運用を開始する。

## 4) 第43回関ブロ・第30回学術大会 合同大会準備委員会報告

薄準備委員長より、運営局、学術局、広報局、渉外局、事務局の進捗状況について以下に報告された。

### ①運営局

9月12日（木）幕張メッセ現地での各局コアメン

バーを含めた会議を実施。

## ②学術局

セッション割付が完了し、演題と座長が決定した。その他、表彰準備委員会を開催。

## ③広報局

関東甲信越ブロックの各士会に参加登録促しのチラシ作成を実施。千葉県内にも協会アプリを用いた通知を予定。SNS戦略として講師・座長の一言ショート動画の撮影依頼、編集後、公式Xにて広報活動を実施しており、インプレッションも増加傾向にある。

## ④渉外局

合同大会企画：福祉用具体験展示～触って、試して、福祉用具がつなげる理学療法の可能性～、ミニセミナー4コマ（予定）、スタンプラリーの実施。

高校生招待、及び養成校ブースは現在8校の申し込みあり。

会場内でのコーヒーサービスの実施。

## ⑤事務局

各局の取組の支援、予算管理、開会式、関プロ士会長会議、関プロ懇親会予定。

### 5) 令和6年度ハラスメント防止講習会について

中村職能局長より、例年実施しているハラスメント防止講習会(業務推進部共催)について、12月3日(火)19:00~20:30に実施予定であることが報告された。

### 6) 災害対策委員会 役員安否確認メール訓練について

渡辺理事より、9月は事業計画にあります役員安否確認メール訓練について理事会開催後に実施することが報告された。

### 7) 「学術研究助成」の採択結果報告

今年度の「学術研究助成」の申請件数は3件であり、全て採択となったこと、申請者・採択者と助成金額の内訳について報告された。

### 8) 認定スクールトレーナーの合格者報告

小川副会長より、第1回認定スクールトレーナー養成講習会へ県士会より推薦した会員が認定試験に合格され、その他千葉県内には2名の会員の方が公募にて受講・受験され合格したことが報告された。今後、スクールトレーナーによる活動については検討する予定。

## 2 協議事項

### 1) 代議員への意見収集について

田中会長より「入会率向上および退会率抑制について」「ブロック活動の今後について」ご意見募集につ

いて説明され、代議員に対してアンケートを実施することについて協議が行われた。

6月23日に開催した県士会代議員総会の際に、本来はその場で実施する予定であった代議員との意見交換が、他の議案に関する議論が長時間となったこと、代議員へ意見収集をするアンケートを行うことを伝えていたことから、アンケートを実施することとなった。

入会率の向上については、養成校への働きかけや会費のこと、アンケート内容について検討された。

### 2) 60周年記念事業における公募企画の協力依頼の共有と対応について

協会から協力要請のあった60周年記念事業における公募企画の協力依頼について共有し、県士会としての対応については田中会長より担当者を決めて進めることを共有された。

### 3) 経費運用基準について

大住定款・規定委員長より、県士会業務に対する適切な報酬として作業費等を記載した経費運用基準(案)をあらたに検討していることが報告された。次年度予算より施行・運用するために、予算や金額設定、宿泊の基準等についての意見が出された。

### 4) 委員派遣(文書決裁)等に関わるWG会議報告および県士会事業のリスト化について

小川副会長より、今年度より活動を開始した委員派遣(文書決裁)等に関わるWGの第二回会議の内容について報告され、併せて各部・局が受けている事業の整理のため、リストを用いて各局部・ブロックより事業内容を報告してもらいリスト化を進めることについて協議された。

### 5) 県士会執行部・ブロック長合同会議の開催について

次年度以降のより円滑なブロック運営において、県士会執行部とブロック長で意見交換を行う機会を設けることについて提案され、協議された。

## 3 審議事項

### 1) 第31回千葉県理学療法学会 大会長 推薦について

第31回千葉県理学療法学会において、以下の候補者を学会大会検討委員会から推薦し、賛成多数にて承認された。

・候補者：高杉 潤 理事

・所属：東都大学 幕張ヒューマンケア学部

なお、会場は幕張国際研修センター(千葉県千葉市

美浜区ひび野1丁目1)、会期については2026年3月1日(日)とすることが併せて承認された。

次回、令和6年度第8回理事会  
日時：令和6年10月11日(日)  
会場：WEB会議

以上

## ●令和6年度 第8回理事会 議事録

日時：令和6年10月11日(金)19時00分～21時10分  
場所：WEB会議

出席者：〈理事〉田中康之、薄直宏、高橋聡、小川明宏、松田徹、桑江豊、大住崇之、藤井颯、高杉潤、中村亮太、三和真人、森下勝行、小林好信、竹内真太、川村雄輔、深田亮

〈委任状〉竹内弥彦、渡辺政基、森田悠介

〈欠席〉なし

〈監事〉西山晴彦、松川基宏、児玉美香

〈委員長〉内村元

〈事務局〉奥村龍之

〈書記〉菊池俊明

### 1 報告

#### 1) 会長報告及び三役局長会議報告

田中会長より、9月13日から本日までの行動概要及び三役局長会議にて議案調整等行われたことについて報告された。

#### 2) 事務局会議報告

松田事務局長より以下について報告された。

##### ① 県士会ニュース進捗

12月号の県士会ニュースの記事の入稿期限は10月末となり、巻頭言は高橋副会長に依頼。

##### ② ホームページ管理

各部局、委員会等からの修正依頼について適宜対応を行っている。各ブロックのビュー数(半年分)の抽出が可能になった。今後、ブロックへのフィードバック内容について、ニーズの確認を予定している。

##### ③ 県士会理事向けのTeams導入のステップ

現在検討中のサービスと料金プランについて説明の上、まずはニュース編集部と事務局間で試行すること

について共有された。

##### ④ 卒前卒後教育連携推進委員会会議報告

10月1日に開催された会議の中で、千葉県内養成校新卒者の協会入会率について情報共有を行ったこと等について共有された。

##### ⑤ 地域活動支援本部会議報告

公益事業局からの問い合わせ対応(高校野球サポート中に、スタッフが酔っ払いが絡む喧嘩に巻き込まれるトラブルが発生した件)について、スタッフが完全な被害者の場合は、保険でカバーされることが確認された。

##### ⑥ 研修会・学会等の広報についての基準について

主催者による掲載を明確にするなど、定款・規程検討委員会で検討していく方針。

##### ⑦ 60周年記念事業における公募企画の協力依頼への対応スタッフについて

一次窓口を桑江理事とすることを事務局として推薦し、賛同を得た。併せてこれを機に、県士会の広報事業を担当する部署を設置することを具体的に検討する予定。

### 3) 登録理学療法士制度前期研修を履修するための取組状況の把握について

2023年度および2024年度入会会員の前期研修の履修が進んでいないことを受け、対策を講じるにあたり、前期研修履修者と施設管理代表者を対象に取組状況に関する情報収集を目的としたアンケートを実施中である旨が報告された。

### 4) 公益事業局報告

川村公益事業局長より以下について報告された。

##### ① 成長期のスポーツ障害予防講習会・講師養成講習会について

公益事業局より推薦した木部先生、樋口先生(2名とも部員)にて受講修了。

##### ② 君津ふれあい祭りについて(10/19)

部員5名、公募9名にて参加予定。

##### ③ さくらスポーツフェスティバルについて(10/14)

スポーツ・障がい者スポーツ支援部にて歩行年齢測定会実施予定。

##### ④ 高校野球サポートについて

決勝戦にて40名近く体調不良となり、9割が熱中症であったことが報告された。観客を含む熱中症対策への対応が増えている現状に対し、業務内容の明確化と適切な団体の選定について高野連に確認する旨が報告

された。またスタッフが酔っ払いの絡む喧嘩に巻き込まれるトラブルがあったが大きな問題にはなっていないことが報告された。

⑤ 推進リーダー研修周知

県士会ホームページ上に会員向け案内開始。

⑥ 介護予防研修企画

推進リーダーアンケートを元に研修会を企画。

計画外の企画だが、運営と予算上問題ないことは確認済み。

5) 第43回関ブロ・第30回学術大会 合同大会準備委員会報告

薄準備委員長より、参加者数は1,656名と大盛況で、若手セラピストや学生の参加も多数あり、大変好評だったこと、運営面でも大きなトラブルはなく、無事に終了できたことが報告された。

6) 災害対策委員会の活動報告

中村職能局長より以下について報告された。

① 安否確認訓練メールについて

9月14日～16日で訓練メールをおこない、理事・監事含め23人中21名から回答があった。

今回は、3月に訓練メールを行う予定。

② 9月27日～28日にかけて大規模地震時医療活動訓練への参加について

千葉JRAT本部の立ち上げ、リエゾン、本部ロジとして渡辺理事が参加した。

2 協議事項

1) ブロック長と執行部の意見交換等について

高橋地域活動支援本部長よりブロック長合同会議で提案された執行部との意見交換会について、今後のブロック運営方針を本部にて検討したことを報告された。代議員総会で会長より提案された代議員向けアンケートを実施した結果をふまえ、令和8年度以降のブロック運営整備に向けた、ブロック長と執行部との意見交換会を開催することが提案された。時期は2月末を想定しており、テーマや具体的な内容は次回の本部会議で検討することになった。

2) 組織運営強化に向けた合同情報交換会（Spiceフォーラム）参加者の検討

田中会長より、以下について報告され、参加者について検討された。

2024年11月30日に組織運営強化に向けた合同情報交換会～Spiceフォーラム～が開催される。テーマは

「組織率の向上に向けて～養成校と管理者に視点を置いた職能団体への入会促進～（仮称）」である。県士会からの参加者について協議を行い、卒前卒後教育連携推進委員会の委員から1名を推薦することとなった。

3) 九都県市合同防災訓練への参加について

中村職能局長より千葉JRATが参加する九都県市合同防災訓練へ災害対策委員会の委員より1～2名派遣することについて協議された。

なお、訓練内容としては、①避難所運営訓練、②防災フェアとなっており、委員の派遣については調整中となっていることが報告された。

3 審議事項

1) 千葉県障がい者スポーツ協会より全国障害者スポーツ大会におけるボッチャコーチの推薦について

川村公益事業局長より、千葉県障がい者スポーツ協会より全国障害者スポーツ大会におけるボッチャコーチの推薦依頼があったことが報告され、千葉県千葉リハビリテーションセンターの宮澤氏を推薦することが承認された。なお、依頼元の確認などについては今後調整することが確認された。

2) 研究倫理審査会開催の回数変更について

三和理事より研究倫理審査会開催について、研究倫理審査の継続性を保つため、委員会開催回数を年4回から6回に増やすことが提案された。本年度から実施し、追加予算として32,750円計上することが承認された。

次回、令和6年度第9回理事会（拡大）

日時：令和6年11月8日（金）

会場：ハイブリッド開催（千葉市内）

以上



## ❖ 編集後記 ❖

### ●合同大会

ニュース編集部 部長 纈 纈 琢 磨

寒い日が続いていますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。ニュース編集部 部長の纈纈です。会員の皆さま、いつも県士会ニュースをご覧いただきありがとうございます。

さて、今号は10月5・6日に幕張メッセ国際会議場でおこなわれた第43回関東甲信越ブロック理学療法士学会と第30回千葉県理学療法士学会の合同大会特集号ということで、巻頭言では千葉県理学療法士会高橋副会長より寄稿いただき、合同大会長の田中会長、県士会学会長の小林理事、合同大会での発表者である三枝整形外科の津田先生、本大会の目玉企画でもある養成校交流企画で発表された城西国際大学の学生3名、そして一般参加者として参加された小見川あす

なるクリニック蒲谷先生に、それぞれの合同大会の主催、参加者としての所感原稿を寄稿いただきました。

それぞれの立場での合同大会で感じたことや、見聞きしたことなど体験したことが手に取る様にわかり、私も本大会に広報局員として会場の様々な場所で撮影をおこなっていただきましたので、当日の会場の様子が目に浮かびました。

本大会に参加できなかった皆様にも、対面に拘った久しぶりの学会の様子を感じていただける内容となっていると思います。是非、寄稿いただいた皆様の所感をお読みいただけると幸いです。



今回のニュース原稿の締め切りは  
令和6年12月31日です！

## 千葉県理学療法士会は働きやすい職場づくりを応援しています

困ったときは相談窓口(外部)へ

[千葉県理学療法士会外部相談窓口紹介ページ](https://www.chiba-pt.or.jp/pg2188624.html)

<https://www.chiba-pt.or.jp/pg2188624.html>



### 問い合わせ先

- 千葉県理学療法士会ホームページ  
<http://www.chiba-pt.org/>
- 求人広告のお申込・お問い合わせ  
[chiba-rpt@crest.ocn.ne.jp](mailto:chiba-rpt@crest.ocn.ne.jp)
- ニュース編集部  
部長 纈 琢 磨  
[t.kouketsu@asunargroup.jp](mailto:t.kouketsu@asunargroup.jp)

※当県士会ニュースの無断転載・引用はかたくお断りいたします

発行人 田 中 康 之

発行 一般社団法人 千葉県理学療法士会  
事務局

〒260-0013 千葉市中央区中央1-11-1

千葉中央ツインビル1号館1005号室

Tel 043-301-3065/Fax 043-301-3066

(電話対応の詳細はHP参照)

Mail [chiba-rpt@crest.ocn.ne.jp](mailto:chiba-rpt@crest.ocn.ne.jp)

編集部 部長 纈 琢 磨

医療法人社団 君津あすなろ会

小見川あすなろクリニック

〒289-0314 千葉県香取市野田280-1

Tel 0478-79-5683/Fax 0478-79-5684

Mail [t.kouketsu@asunargroup.jp](mailto:t.kouketsu@asunargroup.jp)